

# JANOG 42 若者支援プログラム レポート

福岡工業大学  
情報工学科情報通信工学科

2018年7月20日

中野 寛二

## 目次

1. JANOG Meeting に参加した全般的な感想.....	3
2. JANOG Meeting に参加して得た事・この後やりたい事.....	3
3. JANOG Meeting で印象に残ったプログラムとその感想.....	4
4. 自分に対して思った感想・目標.....	5

## 1. JANOG Meeting に参加した全般的な感想

JANOG Meeting に参加することで普段の大学生活では得ることのできない IT インフラ業界のトレンドである自動化の難しい側面や、ブロッキングに対する企業の考えなど多くの経験を学ぶことができました。また、JANOG 若者支援プログラム運営委員会の皆様そして JANOG 42 実行委員会の皆様、またホスト・協賛の企業様、この度はありがとうございました。

## 2. JANOG Meeting に参加して得た事・この後やりたい事

私が JANOG Meeting に参加して得た事は、大学の講義で学んだ TCP/IP プロトコルなどの基礎的な知識に対して JANOG のプログラムの内容や協賛ブースで展示していた商品などのサービスは IT インフラ業界のトレンドが多くあり普段の学生生活では知り得ることが難しいものだと思います。また、私と同じく IT インフラに興味がある学生と仲良くなる良い機会となりました。それから懇親会では、普段の学生生活では話す機会のない企業の方と話すことで私自身が知らなかった多くのことを学ぶことができました。今後は、JANOG で発表された資料とストリーミング配信のアーカイブ放送を視聴することで、さらに深く学び私自身の環境で実際に活用していきたいと思いました。それから、JANOG 以外の QUNOG や OSC などの勉強会やイベントにも参加したいと考えています。それ以外には Interop の ShowNet STM や CONBU に参加してイベントのネットワーク構築のスタッフをやりたいと思いました。

### 3. JANOG Meeting で印象に残ったプログラムとその感想

#### 3.1. 『中国のネットワーク事情』

上記のプログラムが印象に残った理由は、日本国内で有名なクラウド事業者の AWS、GCP、Microsoft Azure は中国では規制の問題で利用することが難しいと知ることができました。つまり、中国で事業をしたい日本企業は Alibaba などの中国企業が運営しているクラウドサービスを利用することで遅延を減らすことができると学びました。私は、中国の IT インフラについて詳しくなかったため学ぶことが大きかったです。

#### 3.2. 『IT 系資格の取得について考えて見た』

上記のプログラムが印象に残った理由は、私自身が IT 系資格の取得に対して疑問視していた箇所が明確に説明していたのが印象的でした。この疑問視している箇所は、運転免許などの免許と違い資格を所持していない人がネットワーク機器の操作をして業務を行っても問題がないため取得する理由が分かりませんでした。しかし、このプログラムを通して資格取得におけるメリットが理解できました。また学生の場合は、業務経験がないため取得している資格によって何ができるのか判断ができると思えました。

#### 3.3. 『Go で EPC 作って本番運用している話』

上記のプログラムが印象に残った理由は、LTE のコアネットワークである EPC は講義で習っていたため構成ノードは知っていましたが実際に実装したと聞いたのは初めてだったため実装方法など学ぶことができました。また私は Go 言語に触れたことが無かったが今後、適材適所で Go 言語を利用したいと思えました。

#### 3.4. 『つぶらな瞳で総務省 — 障害の情報提供制度について』

上記のプログラムが印象に残った理由は、2017/08/25 の BGP の障害をエンジニア目線だけでなく総務省の目線でも語っており、障害が発生した時の対処など JANGO41 だとエンジニア目線でどうするかミーティングでしたが今回、総務省側の話を聞くことでエンジニアがどうしたらいいのか知見を深めることができたと思います。

#### 4. 自分に対して思った感想・目標

私自身の知識不足によりプログラムで発表していた内容を理解できない部分があったため今後は、**JANOG Meeting** で理解できない部分を重点的に学び理解できない箇所を減らすことを目標にして次回の **JANOG43** に参加したいと思いました。